

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：和田 浩一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・整理・体系化することにより、それらの成果を広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する活動を継続的に行う。</li> <li>・ 設計・デザイン研究に関連する他学会と連携して、我が国のデザイン研究分野の発展に寄与する。</li> <li>・ さまざまな社会システムの再構築が求められる状況下において、社会的価値を創出するためのデザインのスコープ・プロセス・マネジメント等の方向性をさぐる。</li> </ul> <p><b>初年度：</b>これまでの設計方法研究の流れをレファレンス化し、設計方法の理論、用語、手法等を集成してまとめる。また、設計方法「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動し、デザイン関連他学会との連携を行う。</p> <p><b>2 年度：</b>設計方法の理論、用語、手法等の集成を引き続き行い、設計方法の教科書を出版する。また、デザイン関連他学会との連携 (Design シンポジウム 2023 の開催)を行う。なお、HP によるタイムリーな情報発信を随時行う</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：和田浩一 (職業能力開発総合大学校) 幹事：脇坂圭一 (静岡理科大学) 委員：五十嵐雄哉 (清水建設)、遠藤政樹 (千葉工業大学)、大西康伸 (熊本大学)、近藤伸亮 (東京大学)、酒谷粹将 (関東学院大学)、関博紀 (東京都市大学)、武田有左 (明星大学)、長坂一郎 (神戸大学)、日色真帆 (東洋大学)、棒田恵 (新潟大学)、松村哲志 (日本工学院専門学校)、山口純 (武蔵野美術大学)、渡邊朗子 (東洋大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<設計方法レビューWG>主査：日色真帆 (9 回/年) *設計方法に関する理論、用語、手法等を集成し、これまでの設計方法研究の流れを位置づけ、新しい動向を捉えたレビューを行う。それらの成果を、書籍としてまとめて刊行し、設計方法の教育にも資するようにする。 <Design シンポジウム 2023 WG>主査：和田浩一 (6 回/年程度) 設計やデザインの研究や教育の重要性の高まりと、分野横断的な議論の必要性の高まりを背景として、精密工学会、日本デザイン学会、日本機械学会、日本設計工学会、日本建築学会の 5 学会が、「設計」や「デザイン」を包含する上位概念としての“design”を対象としたシンポジウムを隔年ごとに開催している。2023 年には、日本建築学会が幹事学会となり Design シンポジウム 2023 を開催する予定である。そのため、設計方法小委員会に Design シンポジウム 2023WG を設置して一般講演、特別講演、パネルディスカッションなど事務準備・運営を行う事務局機能を担う。	
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s7/">http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s7/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	小委員会+WG 合同委員会 11 回 (大会プログラム編集・年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	

講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 設計方法レファレンス WG と合同でデザイン方法論に関する書籍の刊行準備を進めた。</li> <li>2. Design シンポジウム WG を設置し、他学会と連携しながら Design シンポジウム 2023 を開催するための準備を進めた。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 書籍刊行に向けた進捗の遅れ</li> <li>2. 委員会 HP の充実</li> </ol>